

議第9号議案

新型コロナウイルスから命を守る緊急対策を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

令和3年9月17日提出

提出者	新座市議会議員	小野由美子
賛成者	//	笠原 進
	//	高邑 朋矢
	//	小野 大輔
	//	辻 実樹
	//	石島 陽子
	//	嶋田 好枝

提 案 理 由

新型コロナウイルス感染者に必要な医療を提供すること、最前線で奮闘している医療機関、医療従事者への支援強化、政府が主導して大規模検査を実行するなど、新型コロナウイルスから命を守る緊急対策を求めるため、この案を提出する。

新型コロナウイルスから命を守る緊急対策を求める意見書

全国各地で、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、感染爆発、医療崩壊が深刻になっています。自宅療養者は10万人を超え、病状が急激に悪化し、自宅で亡くなる人も相次いでいます。ところが政府は8月3日、重症患者と重症化リスクの高い患者以外は「原則自宅療養」という重大な方針転換を行いました。

政府は国民の批判に直面して、「中等症は原則入院」との「説明」を行っていますが、「原則自宅療養」という方針を未だに撤回していません。東京都では全療養者に占める入院患者の割合は10%、宿泊療養者の割合は5%にすぎず、圧倒的多数の患者が「自宅療養」を余儀なくされています。こうした事情は本県においても同様です。

よって国におかれましては、命を守ることを最優先に以下の緊急対策を講ずるよう強く要望します。

記

- 1 「原則自宅療養」の方針を公式に撤回し、病状に応じて必要な医療をすべての患者に提供することを大原則に据え、政府が責任をもって医療機能を強化した宿泊療養施設や、臨時の医療施設などを大規模に増設・確保すること。
- 2 政府が責任をもって医師・看護師を確保するとともに、すべての医療機関を対象に減収補填と財政支援に踏み切り、安心してコロナ診療にあたれるようにすること。
- 3 コロナ治療の最前線で日夜献身している医療従事者をはじめ、宿泊療養施設や臨時の医療施設、訪問診療に携わる医療従事者を含めてすべての医療従事者に対する待遇の抜本的改善をはかること。
- 4 感染伝播の連鎖を断つための検査を「いつでも、誰でも、何度でも」の立場で、従来の枠にとらわれずに大胆かつ大規模に行うこと。特に、感染拡大が顕著になっている事業所、学校・保育・福祉施設等に対する大規模検査を政府が主導して実行すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年 月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様
経済再生担当大臣 様